

6月の政治・経済イベント

重要 01 景気の底の確認

新型コロナウイルスの感染拡大と人々の行動を制限する措置が取られてきたことにより、各国の景気は悪化していますが、まだ、どこまで悪くなっているのかがはっきりしていません。各国で5月の主要経済指標が発表されることで、その点が明らかになってくるでしょう。主要国で制限措置が緩和され始めたことから見て、5月前後が景気の底になりそうです。景気の底のタイミングと深さが見えてくれば、経済成長や企業業績の見通しも立てやすくなります。

重要 02 経済活動再開のペース

景気の底が判明した後は、その後の回復のスピードが注目されます。その点では、各国の制限措置の緩和と、それに伴う経済活動の再開のペースが重要です。制限措置の緩和については、急ぎ過ぎると感染が再拡大し、経済活動の再開がかえって遅れる懸念もあります。活動再開に関して、どのような分野で回復が早く、どのような分野で遅れるかにも注意を払う必要があります。

重要 03 経済の構造変化のもとでの景気主導役の模索

新型コロナウイルスの流行により、短期的に景気が悪化するだけでなく、個人や企業の行動が変容することで経済の構造が変化することにもなるでしょう。構造変化の中で需要や生産が大きく拡大しそうな分野を模索する動きが、個々の企業の事業戦略や各国政府の経済政策の中に見えてくる可能性があり、注目されます。

6月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(月)	日本 	法人企業統計（1-3月期）
4日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
5日(金)	米国 	雇用統計（5月）
7日(日)	中国 	貿易収支（5月）
10日(水)	米国 	金融政策発表
15日(月)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（5月）
16日(火)	日本 	金融政策発表
16日(火)	米国 	鉱工業生産指数、小売売上高（5月）
26日(金)	米国 	個人所得・消費支出、個人消費支出デフレーター（5月）
30日(火)	日本 	鉱工業生産指数、失業率、有効求人倍率（5月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認ください。